

フォローアップ研修ネット配信でも大人気の研修！待望のオンライン開催決定！

介護従事者の「気づき」の力を高める研修会 12/17

オンライン
研修(ZOOM)

利用者本位のサービスを提供するには、利用者のことを良く知ることが大切です。

しかし、多忙な現場においては、利用者の思いや状況に『気づく』のは簡単なことではありません。また、忙しくても『気づける』職員がいる一方、さほど忙しくなくても『気づけない』職員がいることも事実です。職員による『気づき』の差は、サービスの質にも影響します。利用者の『訴え』、『体調の変化』、『危険な状況』を気づかずにいることで、BPSD（周辺症状＝徘徊、拒否、暴言・暴力、不穏、帰宅願望等）が現れたり、病気の重度化や感染症の蔓延に至る他、場合によっては重大事故に発展してしまうこともあるかもしれません。利用者が心地よく安心して生活していくためには、個々の職員の『気づき』の力を養うことが求められます。

コロナウィルスの感染が心配される中、少しでも安全な環境で、受講をしていただきたいと思います。今回の研修会をZoom（オンライン会議システム）にて開催することと致しました。

Zoom（インターネットに繋がるパソコンやスマートフォンがあれば無料でインストールが可能）が繋がる環境であれば、会場にお越しいただかなくても受講していただけます。

演習に関してはZoomにて、参加者同士（もしくは事業所内の職員同士）でディスカッションしていただくとともに、話し合った内容をもとに講師が解説をいたします。座学は講義動画を使用し、演習は会議システムを活用し、オンラインの利点を活かして理解を深めていただきます。

受講
費用

個人参加→（1名あたり）11,000円

ネット配信加入者は半額で受講可

事業所参加→（1事業所3名～5名）20,000円

半額対象外

講義動画	【気づきの基本】 ・気づきとは ・気づきのメカニズム ・介護従事者に求められる気づき ・3Aのために必要な情報 ・危険予知と気づき ・気づきを高めるポイント
講義動画	【気づきを高めるために】 ・気づきを高める力 ・気づきを妨げるもの ・「気づけない」理由 ・気づきに必要基礎知識 ・「気づき」と情報共有
Zoom	【気づきを高めるための演習】 ※グループワーク 【危険予知訓練】 ・危険予知訓練の目的と効果 ・危険予知訓練による人材育成 ・危険予知訓練の準備と方法 【危険予知訓練の演習】 ※グループワーク
講師 / 田島利子先生	介護福祉士・介護支援専門員 グループホームあんずの家施設長 日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム管理者。現場の業務に精通したスペシャリストで、介護現場の実情を踏まえた実践的な講義が好評。25年以上の大変豊富な知識と経験を兼ね備えた専門家。事業所での研修やコンサルテーション等を行っている。

「気づき」の力を高めていただくために、午後の講義はグループワークを中心としております。
「同じ事業所の職員同士で話し合いたい」という場合は、「事業所参加」にてお申込み下さい。1事業所（3名以上、5名まで）20,000円で受講可能です。
※個人での参加も大歓迎！個人の参加者同士で話し合ってください。他事業所の方との交流が図れ、新たな「気づき」にもつながります。

日時：2020年12月17日 9:30～16:30

問合せ先（主催）：お茶の水ケアサービス学院 TEL：03-3863-4000

申込み FAX 03-3863-4006 24時間受付中！

参加形態（選択してください）	<input type="checkbox"/> 個人参加/1名（11,000円） <input type="checkbox"/> 事業所参加/3～5名（20,000円）			
お名前	フリガナ	事業所名	ネット配信の加入の有無	有・無
住所	（〒 - ）（事業所・自宅）			
TEL	FAX	e-mail		

※お申し込み後（申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。また、申込日に拘らず12/3以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。